

○新規登録農薬の現地適応性試験

新に登録された農薬（殺菌剤、殺虫剤、除草剤、植調剤）が、県内で安定した効力を発現し普及性の高い薬剤であるかどうかを検証する現地適応性試験（実験・普及展示圃）を青森県及び試験研究機関と共同して実施しています。これらの試験結果は「青森県農作物病虫害防除指針」に反映され、指導者向けに活用され、農薬の適正な使用の推進が図られています。

農薬展示圃設置申込書ファイルは、ホームページからダウンロードできます。

新規登録農薬の現地適応性試験設置数の推移

年次	担当場所	水稲・稲作	野菜・花き	果樹	飼料作物	合計
平成30年度 (計画)	県(県南)	3	5	4	0	12
	県(津軽)	3	5	8	0	16
	研究機関	0	0	3	0	3
	県植防	0	0	0	0	0
	計	6	10	15	0	31
平成29年度	県(県南)	3	5	4	0	12
	県(津軽)	3	5	9	0	17
	研究機関	0	1	1	0	2
	県植防	0	0	0	0	0
	計	6	11	14	0	31
平成28年度	県(県南)	5	6	5	0	16
	県(津軽)	5	8	11	0	24
	研究機関	0	0	5	0	5
	県植防	0	0	0	0	0
	計	10	14	21	0	45
平成27年度	県(県南)	5	6	10	0	21
	県(津軽)	3	7	4	3	17
	研究機関	0	0	0	1	1
	県植防	0	0	0	0	0
	計	8	13	14	4	39

県(津軽): 東青、中南、西北地域県民局の普及振興室

県(県南): 三八、上北、下北地域県民局の普及振興室